

子どものさらなる成長を願い、1年間の成果と課題を共有



1月20日(月)に、第4回学校運営協議会を開催しました。内容は、各校で実施した「学校評価結果」の交流を通して、学校の取組と子どもたちの成長した姿を具体的にイメージし運営委員会として評価を行いました。

学校評価は、教育の質の保証・向上、学校運営の改善、信頼される開かれた学校づくりを目的として行われますが、より実効性のあるものにするためには学校・家庭・地域が共通理解を持ち、その連携協力により学校運営の改善に当たることが重要です。これを見ると、学校の1年間の取組の成果と課題がわかります。今後、学校改善の「コミュニケーション・ツール」として活用していきたいと考えています。

各校の評価内容は以下の通りです(ABCの評価は、学校からの評価を尊重)。



	【小学校】	【中学校】
㊦	わかる授業・子どもたち主体の授業改善をします 重点2…進んで学び、互いに高め合う 教師アンケート A 保護者アンケート A 児童アンケート A 重点3…正しい姿勢で、人の話を最後まで聞く 教師アンケート A 保護者アンケート A 児童アンケート A ※ICTの整備とともに授業改善が進み、子どもは学んだ知識を生かし主体的に学ぶようになっている。	わかる授業で確かな学力をつけます 教師アンケート A 保護者アンケート B 生徒アンケート B ※家庭学習が定着していない現状から、復習及び目標を持って取り組む指導を望む。 ※スマホを使う時間が長い。全く使わないようにすることはできないので、せめて使用時間を減らしその分学習に充てるよう学校や家庭で連携し指導していく。
㊧	つながりを大切にします	
	家庭・地域連携 教師アンケート B ※地域と連携した教育活動や保護者の協力を得た図書整備もできたが、今後総合の計画整備が必要。	家庭・地域連携、小学校との連携 教師アンケート A 保護者アンケート A 生徒アンケート A ※小中連携の合唱交流は、お互いの活動が見え刺激となるので次年度も継承したい。
㊨	ともに豊かな心を育てます	
	重点…いじめを許さない、思いやりのある子ども 教師アンケート A 保護者アンケート A 児童アンケート A ※子どもと向き合う時間の確保ができています。	教師アンケート A 保護者アンケート B 生徒アンケート A ※ハッピーレターの取組や地域での活動そしてボランティア活動は高く評価できる。
㊩	さわやかな学校づくりをします	
	主体性を育む教育活動 教師アンケート B ※育むように努めているが、子どもの消極的な姿をみると改善の余地はある。効果的な具体策を検討。	礼儀と挨拶、生徒会活動・部活動 教師アンケート A 保護者アンケート B 生徒アンケート A ※保護者と生徒の評価にズレがある。発達段階を考慮して、大人から声をかけるようにしていきたい。
㊪	むずかしいことに挑戦する態度を育てます	
	重点…夢や希望を持ち、目標に向かって努力する 教師アンケート B 保護者アンケート B 児童アンケート A ※君の未来サポートプランはよい取組。ただ学年によって将来の夢や希望の持ち方が違う。実感の持てる指導を。	教師アンケート B 保護者アンケート B 生徒アンケート A ※子どもが何をしたいのかが分からない。最後までやり遂げる粘り強さを身に付けたい。また、進路の目標を持たせ取り組ませたい。

今回は、評価に終始することなく学校の取組の状況や子どもの成長した姿を自己評価や保護者・児童生徒アンケートをもとに交流した結果、取組と成果を結び付けやすく学校の実態をより具体化することができました。そのことによって、説明後の話し合いも授業改善、学習規律、スマホの使い方等活発に行われ、様々な角度から質問や意見が出され「熟議」に一歩近づきました。

会議の中には、時間だけが空しく過ぎ内容の深まらない会議があります。学校運営協議会が目指している会議は、貴重な時間を割いて参加していただいていることを念頭に”参加してよかった”と思える会議です。少しでも、委員一人一人がそう思えるような会議であることを期待し会議を終えました。